



1万枚の【歌舞伎ブロマイド】をデジタル化・保存する

公益財団法人松竹大谷図書館が、9月10日(火)より
クラウドファンディングプロジェクト

「【第8弾】写真で蘇る名優の面影、歌舞伎の魅力を次世代へ。」を
「Readyfor」にて開始

公益財団法人松竹大谷図書館（東京都中央区）は、同図書館運営及び所蔵資料の保存とデジタル化のための資金調達を目的とした「【第8弾】写真で蘇る名優の面影、歌舞伎の魅力を次世代へ。」プロジェクトを、9月10日より READYFOR 株式会社（東京都文京区、代表取締役：米良はるか）が運営するクラウドファンディングサービス「Readyfor」にて開始いたしました。

公益財団法人松竹大谷図書館は、昭和33[1958]年に開館した演劇・映画専門の私立図書館で、歌舞伎やその他の演劇・映画に関する、台本、プログラム、写真、文献、雑誌などの資料約48万点を無料で一般公開しています。松竹が手掛けた興行関連資料から他社の資料まで幅広く収集・所蔵し、利用者へのサービスに努めています。

今回のプロジェクトの支援でデジタル化を進めようとしている【歌舞伎ブロマイド】とは、明治末期から戦前にかけての、歌舞伎の舞台写真や俳優の扮装写真（演じる役の衣裳を着け化粧をして撮影している写真）です。劇場の売店などで売られ、観劇の記念品や土産物として大変人気が高かったもので、芝居好きの間で広く愛好されていました。そのため各地に相当数が現存していると思われていますが、当時の歌舞伎の舞台や名優たちの姿が記録されている貴重な資料であるにも関わらず、整理や研究が未だ進んでおらず、その価値が十分に活かされているとは言えません。現在、松竹大谷図書館では、演劇に関する写真資料を約12万枚所蔵していますが、その他に未整理の写真資料が段ボールにて25箱もあります。今回、【第8弾】プロジェクトでは、ご支援により未整理資料の一部である【歌舞伎ブロマイド】約1万枚をデジタル化し、画像での閲覧と考証を行う事で整理を進め、より活用する事を計画しています。また、公開可能な写真についてはWeb上で閲覧が出来るようにすることで、日本演劇の研究にも貢献したいと考えています。そして、デジタル化作業終了後の【歌舞伎ブロマイド】は保存容器に保管し、写真資料に適した環境での保存を予定しています。



【歌舞伎ブロマイド】の
デジタル撮影準備のための仕分け作業

【第8弾プロジェクト概要】

プロジェクト名：「【第8弾】写真で蘇る名優の面影、歌舞伎の魅力を次世代へ。」

<https://readyfor.jp/projects/ootanitoshokan8>

■募集期間 令和元年9月10日(火)～10月30日(水)【50日間】

■実行者 松竹大谷図書館事務局 武藤祥子

■目標金額 250万円(図書館の令和元年度運営資金：170万円／

【歌舞伎ブロマイド】のデジタル化・保存容器費用：80万円)

■募集金額 一口 3,000円/5,000円/10,000円/30,000円/50,000円

■リターン 支援金額に応じて趣向を凝らしたリターンがプラスされます。

【3,000円～】松竹大谷図書館HPにお名前記載

【5,000円～】当プロジェクト限定 歌舞伎台本『曾我緋侠御所染』と、映画台本『男はつらいよ』第一作の表紙デザインの文庫本カバー

【10,000円～】所蔵する台本(歌舞伎・映画)のうち、約300タイトルの中から支援者にお好きな作品を選んでいただき、その台本カバー(台本を保護するための手作りカバー)に支援者のお名前を載せる権利

【30,000円～】当館所蔵組上燈籠絵『頼朝富士之牧狩仁田四郎功名之圖組上ケ五枚續』のオリジナル文庫本カバー

【50,000円～】松竹大谷図書館見学会にご招待



「歌舞伎台本」文庫本カバー[左]
「映画台本」文庫本カバー[右]
※大きい方は本物の台本
文庫本カバーは見本

※松竹大谷図書館は公益財団法人ですが、このプロジェクトで集める支援金に関しては、購入型のクラウドファンディングを利用するため、本プロジェクトでご支援いただいた方は、税制上の優遇措置は受けられません。

※資金分配方式 All or Nothing (募集期間中に支援総額が目標金額を超えた場合に、プロジェクト成立となります。)

【【歌舞伎ブロマイド】のデジタル化及び保存について】

今回、デジタル・アーカイブ構築は立命館大学アート・リサーチセンターに、保存容器制作は(株)資料保存容器にお願いする予定です。

■立命館大学アート・リサーチセンター URL: <https://www.arc.ritsumeai.ac.jp/> Tel: 075-466-3411

■株式会社資料保存容器 URL: <https://www.hozon.co.jp/> Tel: 03-5976-5461

【松竹大谷図書館、これまでのクラウドファンディング】

本図書館は常に財政が厳しく、平成24[2012]年、専門図書館としては初めて、運営資金を募集するためのクラウドファンディングプロジェクトを「Readyfor」で実行しました。以来、昨年まで合せて7回のプロジェクトを実行し、いずれも目標金額を達成し、これまでに累計で約2,000万円を超えるご支援を頂いています。

1) 「歌舞伎や『寅さん』、大切な日本の文化の宝箱を守る。」

■募集期間 平成24年9月3日(月)～10月23日(火)
■目標金額 200万円(図書館の運営資金) / ■結果 272名から357万9千円の支援金

2) 「【第2弾】歌舞伎や映画、大切な日本の文化を次世代に残す。」

■募集期間 平成25年9月18日(水)～11月6日(水)
■目標金額 250万円(図書館の運営資金、所蔵資料のデジタル化資金) / ■結果 243名から291万円の支援金。
大正14[1925]年創刊の映画雑誌『蒲田週報』の合本を解体し、修復・デジタル化に成功。

3) 「【第3弾】日本文化の宝・歌舞伎や映画の記憶を未来につなぐ。」

■募集期間 平成26年9月9日(火)～10月29日(水)
■目標金額 280万円(図書館の運営資金、所蔵資料のデジタル化資金) / ■結果 263名から296万5千円の支援金。
5千枚以上の「芝居番付」のデジタルアーカイブ化を完了。検索閲覧システムを公開。
「芝居番付検索閲覧システム」URL: https://www.dh-jac.net/db1/ban/search_shochiku.php

4) 「【第4弾】歌舞伎や映画、日本文化の歴史を後世に伝える。」

■募集期間 平成27年9月8日(火)～10月28日(水)
■目標金額 250万円(図書館の運営資金、所蔵資料のデジタル化資金) / ■結果 238名から287万8千円の支援金。
「GHQ検閲歌舞伎台本」400冊のデジタルアーカイブ化を完了。検索閲覧システムを公開。
「GHQ検閲台本検索閲覧システム」URL: https://www.dh-jac.net/db1/books/search_shochikudaihon.php

5) 「【第5弾】歌舞伎や映画、鮮やかな日本文化の遺産を守り復元する。」

■募集期間 平成28年9月6日(火)～10月26日(水)
■目標金額 250万円(図書館の運営資金、所蔵資料のデジタル化及び復刻版制作資金) / ■結果 164名から278万円の支援金。
「組上燈籠絵」161枚のデジタルアーカイブ化、検索閲覧システムを公開。厳選3作品の復刻版制作を完了。
「組上燈籠絵検索閲覧システム」URL: https://www.dh-jac.net/db/nishikie/search_shochiku.php

6) 「【第6弾】歌舞伎や映画、銀幕が伝えた記憶を宝箱で守る。」

■募集期間 平成29年9月5日(火)～10月25日(水)
■目標金額 250万円(図書館の運営資金、所蔵資料アーカイバル容器制作資金) / ■結果 220名から260万5千円の支援金。
【映画スクラップ】を1冊ずつ収める「タトウ式保存箱」を233箱、1,596冊を約30冊ずつ収める「組み立て式棚はめ込み箱」48箱を制作し、スクラップの収納を完了。

7) 「【第7弾】世界へ翔んだ、川上音二郎・貞奴の軌跡を未来へ。」

■募集期間 平成30年9月4日(火)～10月24日(水)
■目標金額 250万円(図書館の運営資金、所蔵資料の補修・デジタル化資金) / ■結果 215名から270万8千円の支援金。
約120年前の欧米公演関連資料【川上音二郎・貞奴アルバム】を補修及びデジタル撮影。現在アーカイブを構築中。

【松竹大谷図書館について】

公益財団法人松竹大谷図書館は、松竹株式会社の創業者の一人、大谷竹次郎が昭和30[1955]年に文化勲章を受章したのを記念して、演劇、映画に関する貴重な資料を後世に残し、一般に公開したいという想いで設立した、演劇・映画の専門図書館です。演劇(歌舞伎・文楽・新派・商業演劇を中心に)、映画、日本舞踊、テレビに関する書籍、雑誌、台本、写真、プログラム、ポスターなどの資料を収蔵し、その資料数は約48万余点に及んでいます。

○名称: 公益財団法人松竹大谷図書館(昭和31[1956]年12月26日設立)
○住所: 〒104-0045 東京都中央区築地1-13-1 銀座松竹スクエア3階
○電話: 03(5550)1694
○開館時間: 平日午前10:00～午後5:00
○休館日: 土曜日、日曜日、祝日、毎月最終木曜日
URL: <http://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/>
Facebook: <https://www.facebook.com/Shochikuotanitoshokan/>



松竹大谷図書館の閲覧室